



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 静甲株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6286 URL <http://www.seiko-co.com/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鈴木 恵子
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 鈴木 武夫 TEL 054-366-1106
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	22,038	△7.9	281	157.6	365	98.8	135	28.9
2020年3月期第3四半期	23,923	△0.3	109	△55.7	183	△40.4	105	△33.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 461百万円 (247.9%) 2020年3月期第3四半期 132百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	21.07	—
2020年3月期第3四半期	16.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	25,354	14,354	56.6
2020年3月期	23,839	13,995	58.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 14,354百万円 2020年3月期 13,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	13.00	—	8.00	21.00
2021年3月期	—	8.00	—		
2021年3月期（予想）				8.00	16.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 2020年3月期の第2四半期末配当金につきましては、創業80周年記念配当5円を含んでおります。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	△1.0	450	12.8	490	1.0	280	4.5	43.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	6,483,323株	2020年3月期	6,483,323株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	52,434株	2020年3月期	52,434株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	6,430,889株	2020年3月期3Q	6,430,819株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済・社会活動が急速に停滞し、景気の悪化が続いております。第3四半期に入り緩やかな回復の兆しがみえたものの、再び感染拡大傾向に転じ、景気は厳しい状況で推移いたしました。

このような経済環境のなか、当社グループでは、「顧客対応力の充実を図る」を方針として掲げ、「人づくり」「仕組みづくり」「ものづくり」を重点課題として定め、各事業において施策を推進しております。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、産業機械事業は前年同期の実績を上回りました。一方で、冷間鍛造事業、電機機器事業、車両関係事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により前年同期の実績を下回りました。

これらの結果、売上高は、前年同期比7.9%減の220億3千8百万円となりました。

利益面では、販売費及び一般管理費の削減とIT投資効果により、経常利益は前年同期比98.8%増の3億6千5百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比28.9%増の1億3千5百万円となりました。

なお、当社グループでは新型コロナウイルス感染症の感染防止対策費用として当連結累計期間に3千6百万円を計上しております。

〔産業機械事業〕

包装機械は、売上面ではコロナ禍での工事延期や中止などにより保守メンテや改造工事は前年同期の実績を下回りましたが、機械製造は、大型の液体充填ラインの売り上げが増加したため、前年同期の実績を上回りました。一方、受注面ではアルコール製剤、消毒液、石鹼、洗剤等の設備需要が高まり、医薬品、洗剤メーカーからの商談、受注がスポット的に増加しております。これらの結果、売上高は、前年同期比15.0%増の54億4千9百万円、セグメント利益（営業利益）は、前年同期比101.7%増の6億5千7百万円となりました。

〔冷間鍛造事業〕

冷間鍛造事業は、自動車部品は自動車メーカー各社の生産縮小や工場の停止の影響により、第2四半期までは前年同期の実績を大きく下回りました。第3四半期に入り、自動車部品、電動工具部品、産業機械部品の全てにおいて受注が回復し生産高も増加いたしました。第2四半期までの落ち込みをカバーするまでには至らず、前年同期の実績を下回りました。これらの結果、売上高は前年同期比4.0%減の10億4千8百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、経費の圧縮に努めた結果、前年同期比15.5%増の4千1百万円となりました。

〔電機機器事業〕

主力のFA関連機器は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響により自動車関連などの静岡県内製造業向け設備案件が大幅に減少したため前年同期の実績を大きく下回りました。また、設備機器も、前年同期のような大型案件がなかったため、前年同期の実績を下回りました。一方で、冷熱機器、空調機器、空調機器用部材は、前年同期の実績を上回りました。これらの結果、売上高は前年同期比10.1%減の38億3千9百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比27.4%減の2億4千3百万円となりました。

〔車両関係事業〕

車両関係事業は、第3四半期にスバルXV、インプレッサ、フォレスターのマイナーチェンジが実施され、それに合わせたキャンペーンや購入支援パッケージを投入するなど増販に努めてまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響を大きく受け、新車販売、中古車販売、サービス部門において前年同期の実績を下回りました。一方、輸入車販売は前年同期の実績を上回りました。これらの結果、売上高は前年同期比15.4%減の116億1千1百万円、セグメント損失（営業損失）は1千7百万円（前年同期は0百万円の利益）となりました。

〔不動産等賃貸事業〕

売上高は、前年同期比10.9%減の9千万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比75.8%減の6百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、253億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億1千5百万円増加いたしました。

この内、流動資産は131億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億4千1百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加10億2千7百万円、受取手形及び売掛金の減少7億3千8百万円、電子記録債権の増加4億3千6百万円によるものであります。

固定資産は122億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億7千4百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の増加6億円、建設仮勘定の増加3億1千9百万円によるものであります。

負債合計は110億円となり、前連結会計年度末に比べ11億5千6百万円増加いたしました。これは主に、借入金の増加11億9千万円によるものであります。

純資産合計は143億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億5千8百万円増加いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加3億2千6百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期業績予想につきましては、2020年10月23日付当社「業績予想に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,658,105	5,685,478
受取手形及び売掛金	3,544,911	2,806,172
電子記録債権	399,670	836,309
商品及び製品	1,977,108	2,127,126
仕掛品	1,082,650	1,213,966
原材料及び貯蔵品	26,765	31,797
その他	708,019	432,597
貸倒引当金	△18,913	△13,882
流動資産合計	12,378,317	13,119,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,889,500	3,808,795
土地	3,358,323	3,358,323
その他(純額)	1,635,115	1,904,638
有形固定資産合計	8,882,939	9,071,756
無形固定資産	208,509	222,498
投資その他の資産		
投資有価証券	1,857,151	2,457,743
その他	521,469	492,265
貸倒引当金	△9,360	△9,390
投資その他の資産合計	2,369,260	2,940,618
固定資産合計	11,460,709	12,234,874
資産合計	23,839,026	25,354,441
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,092,620	3,129,247
短期借入金	1,519,996	2,763,330
未払法人税等	174,945	102,035
賞与引当金	489,862	255,590
製品保証引当金	43,864	42,728
資産除去債務	-	6,700
その他	2,696,140	2,801,327
流動負債合計	8,017,429	9,100,960
固定負債		
長期借入金	935,015	882,514
役員退職慰労引当金	269,296	254,352
退職給付に係る負債	121,878	137,056
資産除去債務	141,983	135,916
その他	357,909	489,354
固定負債合計	1,826,083	1,899,193
負債合計	9,843,513	11,000,153

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,151,288	3,151,288
利益剰余金	10,148,239	10,180,871
自己株式	△28,593	△28,593
株主資本合計	13,370,934	13,403,566
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	624,578	950,720
その他の包括利益累計額合計	624,578	950,720
純資産合計	13,995,513	14,354,287
負債純資産合計	23,839,026	25,354,441

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	23,923,506	22,038,681
売上原価	19,247,859	17,513,436
売上総利益	4,675,647	4,525,244
販売費及び一般管理費	4,566,202	4,243,331
営業利益	109,444	281,913
営業外収益		
受取利息	711	704
受取配当金	65,543	48,798
助成金収入	-	32,791
その他	54,220	46,167
営業外収益合計	120,476	128,462
営業外費用		
支払利息	7,572	10,722
売上割引	33,012	30,103
その他	5,414	3,920
営業外費用合計	45,998	44,746
経常利益	183,922	365,629
特別利益		
固定資産売却益	1,867	848
特別利益合計	1,867	848
特別損失		
固定資産売却損	1,077	54
固定資産除却損	6,535	5,990
投資有価証券評価損	-	40,703
ゴルフ会員権評価損	3,675	-
減損損失	-	5,586
特別損失合計	11,288	52,335
税金等調整前四半期純利益	174,501	314,142
法人税等	69,400	178,616
四半期純利益	105,101	135,525
親会社株主に帰属する四半期純利益	105,101	135,525

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	105,101	135,525
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,613	326,142
その他の包括利益合計	27,613	326,142
四半期包括利益	132,714	461,668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,714	461,668
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

第2四半期連結会計期間の四半期報告書の「(追加情報) (新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)」に記載した内容から重要な変更はありません。